

令和2年度「京丹後市いじめ調査（1回目）」結果について

1 実施状況

- (1) 未実施：6名（小4：2名、小5：3名、中2：1名）
 (2) 家庭訪問での実施：15名（中1：2名、中2：7名、中3：6名）

	小学校	中学校
在籍児童生徒数(人)	2413	1345
調査児童生徒数(人)	2408	1344
未調査児童生徒数(人)	5	1
実施率(%)	99.8	99.9

2 認知と解消について

(1) 認知と未解消

		小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	小学合計	中学1年	中学2年	中学3年	中学合計	京都府 小学校	京都府 中学校
認知	男子	63	38	21	39	25	18	204	12	6	3	21		
	女子	43	29	22	35	20	8	154	5	5	3	13		
	合計	103	67	43	74	45	26	358	17	11	6	34	7,912	742
未解消	A要指導	0	1	4	5	4	2	16	0	0	0	0		
	B要支援	0	2	2	4	4	0	12	0	1	2	3		
	C見守り	103	63	37	65	37	24	329	17	10	4	31		

A:行為止んでおらず被害者の苦痛あり B:行為止んでいるが苦痛あり C:行為済み苦痛もないが3カ月経過していない

- ア 京丹後市すべての小・中学校で、いじめを認知している。
 イ 未解消A要指導件数：小学校16件（R1同調査比－51件）、中学校0件（R1同調査比－1件）
 未解消B要支援件数：小学校12件（H30同調査比－16件）、中学校3件（H30同調査比－2件）
 ウ いじめ事象：小学校4件（加害児童11名）

(2) 認知率

	小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年	小学合計	中学合計	京都府 小学校	京都府 中学校
平成28年度	26.1%	26.7%	26.0%	17.8%	12.9%	11.9%	6.0%	2.2%	1.4%	20.0%	3.2%		
平成29年度	38.3%	26.7%	24.9%	20.2%	14.2%	6.8%	4.8%	3.1%	0.7%	21.2%	2.8%	21.5%	4.3%
平成30年度	24.4%	29.9%	21.1%	20.2%	13.0%	5.9%	5.0%	3.5%	0.8%	18.6%	3.0%	20.4%	3.8%
令和元年度	18.7%	18.1%	28.0%	20.2%	13.3%	7.0%	4.0%	3.9%	1.5%	17.2%	3.1%	18.6%	4.0%
令和2年度	26.6%	17.0%	11.1%	20.1%	10.9%	5.7%	3.9%	2.5%	1.3%	14.9%	2.5%	13.5%	2.5%

- ア 平成28年度以降、小中学校ともに最も認知率が低い。
 イ 京都府の認知率と比較すると、小学校ではやや高く、中学校は同率である。
 ウ 同一学年を昨年度と比較すると、すべての学年で減少している。

(3) 解消について（令和元年度）

		小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年
1回目	認知件数	74	69	104	83	61	31	18	18	7
	解消件数	70	69	73	70	59	30	18	17	6
	解消率	94.6%	100%	70.2%	84.3%	96.7%	96.8%	100%	94.1%	94.1%
2回目	認知件数	104	63	99	73	55	26	20	8	11
	解消件数	84	58	60	47	37	24	19	8	11
	解消率	80.8%	92.1%	60.6%	64.4%	67.3%	92.3%	95%	100%	100%
3回目	認知件数	101	43	79	50	41	8	21	3	5
	解消件数	95	40	73	49	40	6	20	3	
	解消率	94.1%	93.0%	92.4%	98.0%	97.6%	75%	95.2%	100%	

- ア すべての認知件数において聞き取り調査を行い、本人だけでなく保護者にも理解をいただき解消に向けて取組を進めている。
 イ 2回目調査の小学校の解消率が低いのは、コロナウイルス感染症による臨時休校により聞き取り調査ができていない学校があり未解消となっているためである。

(3) 態様の状況について

いじめの態様	小学校					中学校				
	令和元年度		令和2年度			令和元年度		令和2年度		
	1回目 件数	1回目 割合	1回目 件数	1回目 割合	京都府 割合	1回目 件数	1回目 割合	1回目 件数	1回目 割合	京都府 割合
①冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	242	39.2%	218	45.2%	37.7%	33	55.0%	23	53.5%	45.5%
②仲間はずれ、集団による無視をされる。	75	12.1%	57	11.8%	13.0%	6	10.0%	4	9.3%	8.7%
③軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	115	18.6%	100	20.7%	19.1%	6	10.0%	4	9.3%	14.3%
④ひどくぶつられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	70	11.3%	44	9.1%	8.3%	4	6.7%	4	9.3%	5.2%
⑤金品をたかられる。	11	1.8%	11	2.3%	2.2%	0	0.0%	0	0.0%	1.1%
⑥金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	21	3.4%	17	3.5%	3.7%	2	3.3%	2	4.7%	3.7%
⑦嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	60	9.7%	30	6.2%	7.7%	3	5.0%	2	4.7%	3.9%
⑧パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる。	2	0.3%	3	0.6%	1.5%	4	6.7%	4	9.3%	7.5%
⑨その他	22	3.6%	2	0.4%	6.8%	2	3.3%	0	0.0%	10.1%
合計	651		482			60		43		

ア 態様件数の変化

(ア) 認知件数の減少と共に、態様件数も減少している。

(イ) 令和元年度同調査と比較をすると、小学校で-169件、中学校で-17件であった。

イ 態様項目等について

(ア) 全体的には、小学校の上位項目は京都府と同じ傾向である。

(イ) 全体的な態様件数は減少しているが、小中学校とも、「冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」の態様の全体に占める割合が最も高い。

ウ SNSに関する内容

LINE 関係 4件 (小中学校各2件)・オンラインゲームに係るトラブル3件 (小学校1件・中学校2件)

3 重大事態について

1回目調査、および本日までににおける「重大事態」はない。